



平成29年度

管内概要

青森県
西北地域県民局
地域整備部

立佞武多

今から約100年前の明治末期、五所川原には高さ20m以上の巨大な人形ねぶたが威勢よく街を練り歩き、賑わいを見せていました。しかし、大正に入り、電気の普及とともにこの巨大ねぶたは姿を消しました。

その後、平成5年に巨大ねぶたの写真と設計図が発見され、平成8年に五所川原市の有志たちにより80年ぶりに巨大ねぶたが復元されました。これが全国的に大きな反響を呼び、五所川原市並びに津軽半島地域の知名度を高め、青森県を代表する夏祭りの一つとなりました。毎年約170万人の見物客が訪れています。

表紙……平成28年の新作立佞武多『歌舞伎創生 出雲阿国』

「出雲阿国」は、安土桃山時代の女性芸能者である。はじめは、諸国の寺社境内で、勧進のため舞いを奉納していたが、自分の踊りを喜んでくれる、里や町の人々のために踊る事の大切さを悟っている。

後に、少女による小歌踊り「ややこ踊り」を基にして、「かぶき踊り」を創始した事で知られるようになり、それが様々な変遷を経て、現在「世界無形文化遺産」に指定されている歌舞伎が出来上がる事になる。

不安感や閉塞感が、巷に蔓延する乱世の世でありながら、人々の笑顔を作り上げていく、優しくも気丈な阿国の姿は、現代社会の様々な荒波に立ち向かう女性像を彷彿させる。

場面は、阿国がかぶき踊りを舞っている姿。背景の大きな番傘は、見送りに表現する歌舞伎大人気の演目「助六」がさしているもの。

立佞武多が巨光灯籠復活の源流として、益々大入りする事への願いと、困難に立ち向かう日本人の不屈の精神を表現。

制作者 齊藤 忠大

目 次

I. 管内の概要	1
1. 管内のあらまし	2
2. 事業費調べ	3
3. 職員現員表	4
II. おもな事業等	5
1. 道 路	6
2. 河 川	10
3. ダ ム	11
4. 海 岸	12
5. 砂 防	13
6. 急傾斜・地すべり	14
7. 港 湾	16
8. 建 築	17
9. 用地・財産管理	18
奥津軽歴史探訪MAP	19

管内路線図

河川海岸図

I 管内の概要



ミニ白神の紅葉（鱒ヶ沢町）

「ミニ白神」は、鱒ヶ沢町の中心部から南へ車でおよそ30分ほどの黒森地区にあります。

およそ52haのエリアは、人の手が加えられておらず、樹齢200年を越えるブナも見受けられ、白神山地核心部同様の森林景観を保っており、遊歩道も整備されております。

1. 管内のあらまし

平成19年度から西北五地域の県の出先機関は、西北地域県民局に統合され、当地域整備部（鱒ヶ沢道路河川事業所を含む）は、地域づくり支援に一層積極的に取り組んでいます。

所管区域は、津軽半島西部から県南西部の秋田県境までの西北五地域であり、面積は約1,794平方キロメートル（県全体の18.6%）、構成市町は五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、板柳町、鶴田町、中泊町の2市5町、人口は約14.2万人（県全体の11.0%）となっています。

当管内は、ブナの原生林で知られる世界自然遺産「白神山地」、その白神山地に源を發し十三湖に至り日本海に注ぐ、歴史と文化を育んできた母なる川「岩木川」、「青池」をはじめ神秘的な湖沼美を誇る「十二湖」、秋田県境から津軽半島西部の長い海岸線は津軽国定公園として指定されるなど、風光明媚で豊かな自然環境を有しています。

また、遮光器土偶で知られる縄文晩期の「亀ヶ岡遺跡」、中世に一大港湾として栄えた「十三湊遺跡」や、2万8千年前の世界最大級の「出来島海岸の埋没林」、「青森ねぶた」や「弘前ねぶた」と並んで県内有数の入込客数を誇る勇壮な夏祭り「五所川原立佞武多」、昭和の文豪太宰治の生家「斜陽館」など、歴史に彩られた文化遺産にも恵まれ、県内外から訪れる観光客を魅了しています。

さらに、西北地域は、水稻や野菜、果物の栽培、日本海の高産物など、豊富な地域資源を持つとともに、平成22年12月に東北新幹線が全線開業し、平成28年3月26日には北海道新幹線奥津軽いまべつ駅が開業したという状況にあります。

このような地域の特性を生かし、平成26年度からの「青森県基本計画未来を変える挑戦」では、当地域におけるめざす姿として

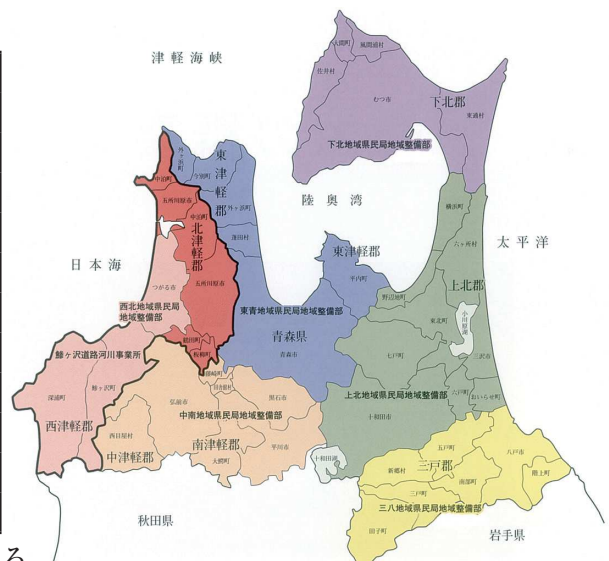
- たくましい農林水産業
- 進化し続ける観光産業
- 地域ぐるみの取組が充実した健康に暮らせる地域
- 地域の支え合いを生かして暮らしやすさが実現している社会

を示しています。

これらの実現には道路交通網の整備や港湾機能の充実、災害に強い河川整備等、社会基盤の整備が不可欠であり、当地域整備部が担う役割は大きなものがあります。

○管内位置図及び管内市町概況

管内	市町	面積	人口
西北地域整備部	五所川原市	404.18 km ²	54,149 人
	中泊町	216.34 km ²	10,837 人
	板柳町	41.88 km ²	13,651 人
	鶴田町	46.43 km ²	13,129 人
	つがる市	253.55 km ²	32,566 人
	計	962.38 km ²	124,332 人
鱒ヶ沢道路河川事業所	鱒ヶ沢町	343.08 km ²	9,788 人
	深浦町	488.89 km ²	8,119 人
	計	831.97 km ²	17,907 人
合計		1,794.35 km ²	142,239 人
青森県全体		9,645.56 km ²	1,288,791 人



※人口は青森県の推計人口（平成29年3月1日現在）による。

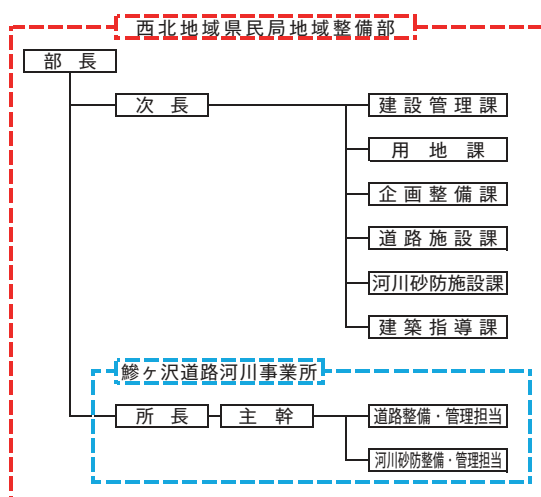
面積は、平成28年全国都道府県市町村別面積調（国土地理院）による。

2. 事業費調べ

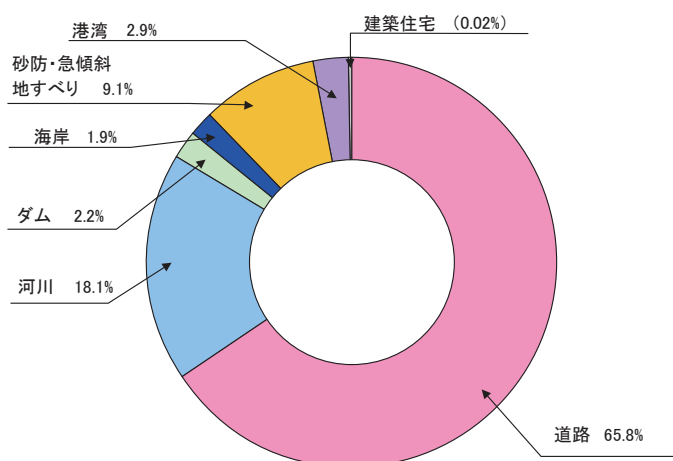
(単位：百万円)

事業別	平成28年度(当初)			平成29年度(当初)			対前年度比 ② / ①
	補助事業	県単事業	合計①	補助事業	県単事業	合計②	
道路	3,016.0	1,658.8	4,674.8	2,973.3	1,685.1	4,658.4	100%
河川	538.2	611.3	1,149.5	540.0	739.5	1,279.5	111%
ダム	175.0	70.0	245.0	103.7	50.8	154.5	63%
海岸	—	130.0	130.0	—	135.0	135.0	104%
砂防・急傾斜地すべり	397.3	272.9	670.2	393.3	252.7	646.0	96%
港湾	159.9	53.8	213.7	150.0	57.6	207.6	97%
建築住宅	—	22.6	22.6	—	1.4	1.4	6%
合計	4,286.4	2,819.4	7,105.8	4,160.3	2,922.1	7,082.4	100%

○機構



○平成29年度事業種別構成比



3. 職員現員表

平成29年4月1日現在

区分	一般職													技能職	非常勤							合計			
	職名	部長	所長	次長	副参事	総括主幹	課長	主幹	主査	主事	技師	主幹専門員	主任専門員	専門員	技能技師	計	砂利採石監視員	非常勤事務員	登記嘱託員	道路監視員	河川監視員	ダム監視員	専任当直員	計	計
西北地域 県民局 地域整備部	部長	1													1									0	1
	次長			2											2									0	2
	建設管理課				1			2	1	3				1	8		1							1	9
	用地課					1		2	2	3		1			9	1		2						3	12
	企画整備課			※ 1				1					1		2		1							1	3
	道路施設課						1	3	1		6		2		13				2					2	15
	河川砂防施設課						1	2	2		2		2		9					2	1			3	12
	建築指導課					1		1			2				4		1							1	5
	計	1	0	2	1	2	2	11	6	6	10	1	3	3	0	48	1	3	2	2	2	1	0	11	59
鱒ヶ沢 道路河川 事業所	所長		1												1									0	1
	総括担当 (副所長)						1								1									0	1
	道路整備・ 管理担当						1	2		1		1		5		1		1					2	7	
	河川砂防整備・ 管理担当						1	2		1		1		5		1			1				2	7	
	当直														0									4	4
	計	0	1	0	0	0	0	3	4	0	2	0	1	1	12	0	2	0	1	1	0	0	4	8	20
合計	1	1	2	1	2	2	14	10	6	12	1	4	4	0	60	1	5	2	3	3	1	4	19	79	

※課長兼務

Ⅱ おもな事業等



大岩の夕陽（深浦町）

海岸の風景を鮮やかな茜色に染め上げる深浦の夕陽。
海岸沿いの国道からは、見渡す限りの夕陽パノラマを楽しむことができます。

1. 道 路

青森市から五所川原市、鱈ヶ沢町を經由して日本海沿いを南下し、秋田県に至る国道101号と津軽半島を縦断する国道339号の2つの国道を基幹に、鱈ヶ沢蟹田線等の14路線の主要地方道と、58路線の一般県道により構成されており、全体で74路線、総延長約784kmを管理しています。

〈管内の道路ネットワーク整備について〉

◆整備方針

「奥津軽」と称される西北地域は、世界自然遺産白神山地や秋田県境から津軽半島に至る西海岸（津軽国定公園）など風光明媚で豊かな自然環境、及び多くの文化遺産を有していることから、この奥津軽の「観光力」強化を推進するとともに、地域の産業、経済、医療を支援する広域道路ネットワークの形成を図ります。また、東日本大震災でも認識されたように、広域災害時の避難・救援活動、物資輸送のための機能強化を図ります。

○平成29年度の道路関係事業費

工 種	補 助 事 業	県 単 事 業	計
道 路 改 築	1, 291. 0	85. 0	1, 376. 0
橋 梁 補 修	805. 0	174. 0	979. 0
橋 梁 架 替	230. 0	51. 1	281. 1
交 通 安 全	111. 0	135. 0	246. 0
災 害 防 除	116. 9	194. 0	310. 9
凍害防雪・その他	419. 4	1, 046. 0	1, 465. 4
合 計	2, 973. 3	1, 685. 1	4, 658. 4

○平成29年度の主な道路事業費

事業種別	路 線 名	施 工 箇 所	施工延長 (m)	事業費 (百万円)	事 業 概 要
国道改築	国道101号	深浦町追良瀬	第Ⅱ期 3, 600. 0	170. 0	用地買収 改良工
国道改築	国道339号	五所川原市下平井町	4, 820. 0	20. 0	舗装工
県道改築	五所川原車力線 (仮称:第二津軽大橋)	中泊町福浦～ つがる市車力	6, 060. 0	446. 0	橋梁工・改良工
交付金 橋梁補修	国道339号 (花菖蒲橋)	五所川原市姥苅	123. 2	30. 0	耐震補強

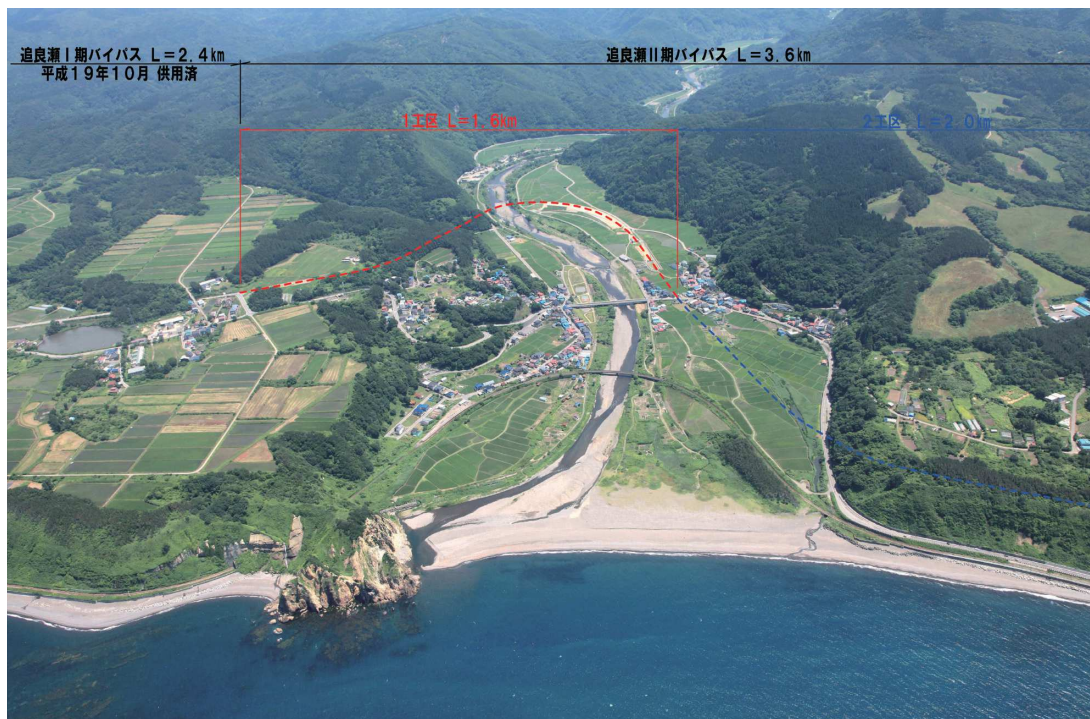
1. 津軽自動車道

青森市浪岡（浪岡IC）を起点とし、五所川原市を経て鱈ヶ沢に至る延長約40kmの一般国道（国道101号）の自動車専用道路です。現在まで、青森市浪岡からつがる柏ICの19.5kmが供用中。また、終点から3.7kmまでの区間の鱈ヶ沢道路について、平成28年7月より供用開始しています。

2. 国道101号

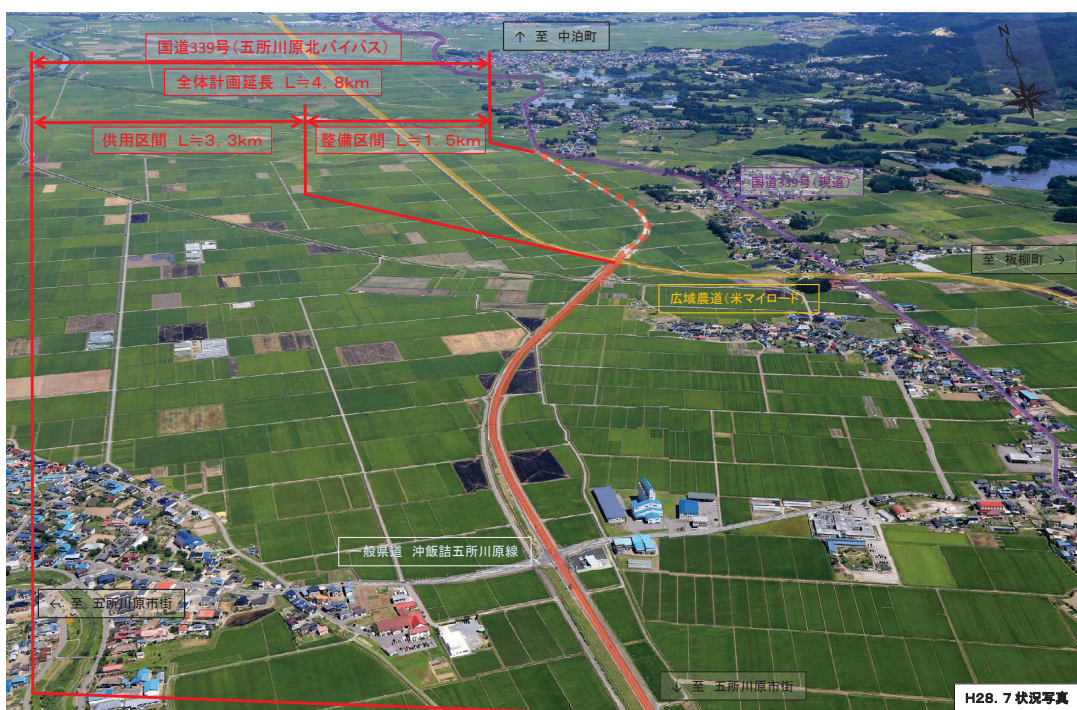
青森市浪岡から五所川原市、鱈ヶ沢町等を経由し、日本海沿いに南下する国道101号は、地域住民にとって生命線と言える幹線道路であり、重要な生活道路でもあります。このため、道路利用者の利便性の向上を図るために、鱈ヶ沢バイパス延長7.6kmを平成14年度に供用し、田野沢バイパスは平成17年度延長0.6kmを部分供用し、平成19年度残1.15kmが完成し、全体延長1.75kmが供用されました。

また、追良瀬バイパス第一期工区延長2.4kmも平成19年度に完成し供用されました。引続き平成20年度から、幅員狭小、線形不良、急勾配の隘路区間の解消を図るため、追良瀬バイパス第二期工区延長3.6kmに着手しています。



3. 国道339号

弘前市を起点とし、藤崎町、五所川原市、中泊町を経て外ヶ浜町で国道280号と接続する、津軽半島を縦貫する幹線道路です。平成6年度から、五所川原市内の円滑な交通の確保と津軽自動車道の五所川原ICへのアクセスを目的とした全体延長4.8kmの五所川原北バイパスに着手しており、現在は、下平井町から米マイロードまでの3.3km区間が供用中であり、残区間1.5kmの整備を進めています。



4. 主要地方道五所川原車力線

五所川原市を起点とし、一級河川岩木川河岸地域を連絡してつがる市車力町に至る幹線道路です。平成13年度から岩木川を跨ぐ「(仮称)第二津軽大橋」(橋長600m)を含む全体延長6.0kmのバイパス整備を推進しています。これにより、つがる市車力町と中泊町との地域間交流の活性化と津軽半島地域の広域観光圏形成の支援を行っています。



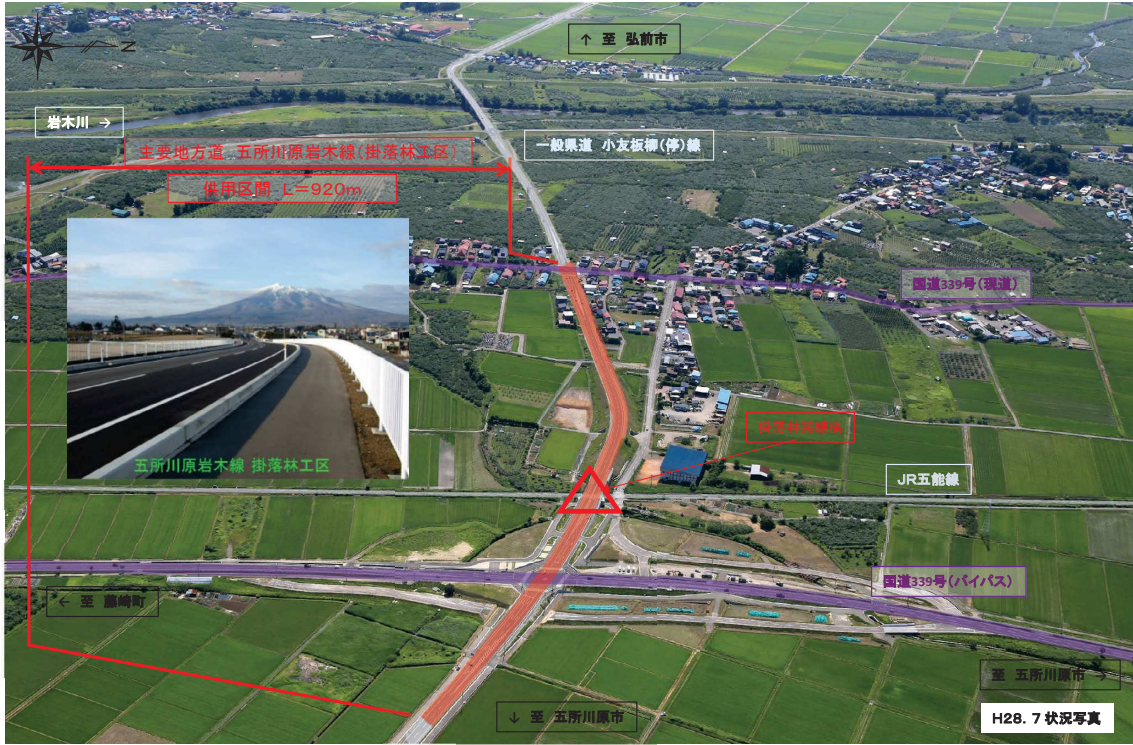
◆ (仮称) 第二津軽大橋



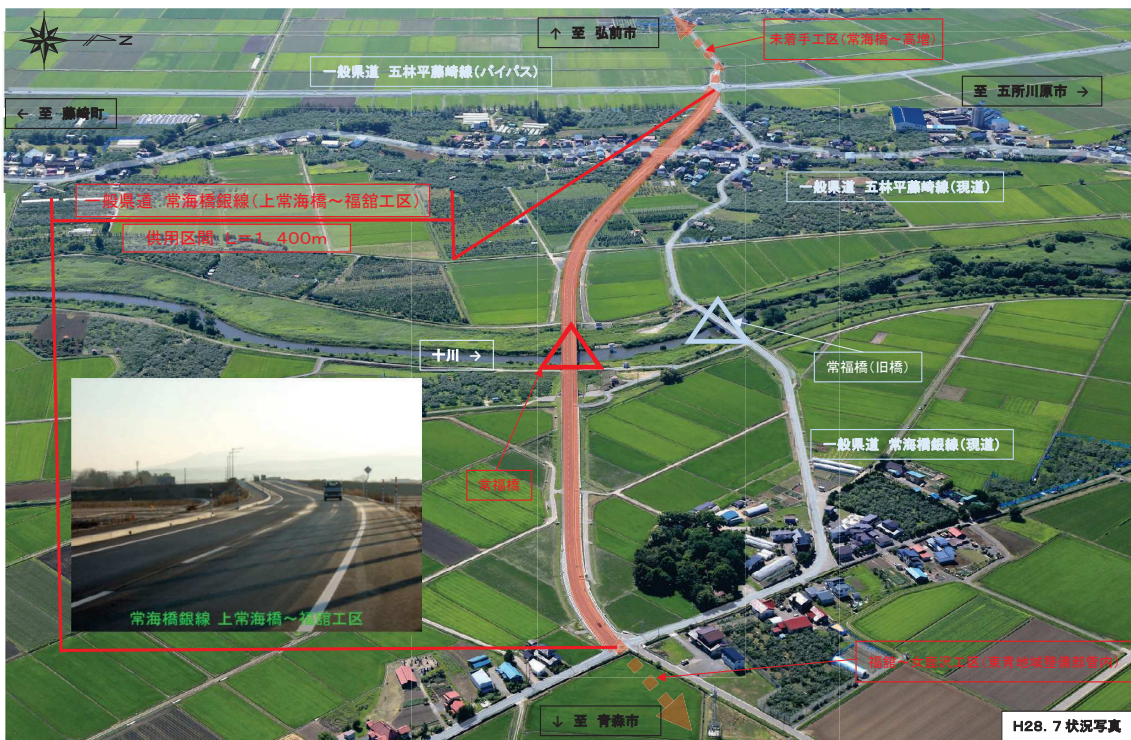
5. 津軽横断道路

青森空港から青森市浪岡、板柳町等を経由して岩木山麓に至る道路として、空港から津軽国定公園へのアクセスと沿道市町村間の連携、交流の促進を図ることができる、観光、産業そして生活において重要な道路です。この道路を構成する五所川原岩木線、常海橋銀線等の整備促進を図り、平成27年12月には十川を横断する上常海橋～福館工区及びJR五能線を跨ぐ掛落林工区の供用が開始されました。また、「町道高増常海橋線」（常海橋～高増間）については、今年度から社会資本整備総合交付金事業により新規事業化され、県道認定を行った上で調査、設計に着手する予定です。

◆掛落林工区



◆上常海橋～福館工区



2. 河 川

岩木川水系の十川をはじめとする1級河川24河川と、白神山地を源とし日本海にいたる赤石川、笹内川等の2級河川26河川があり、総延長364.707km（1級河川180.907km、2級河川183.800km）を管理しています。

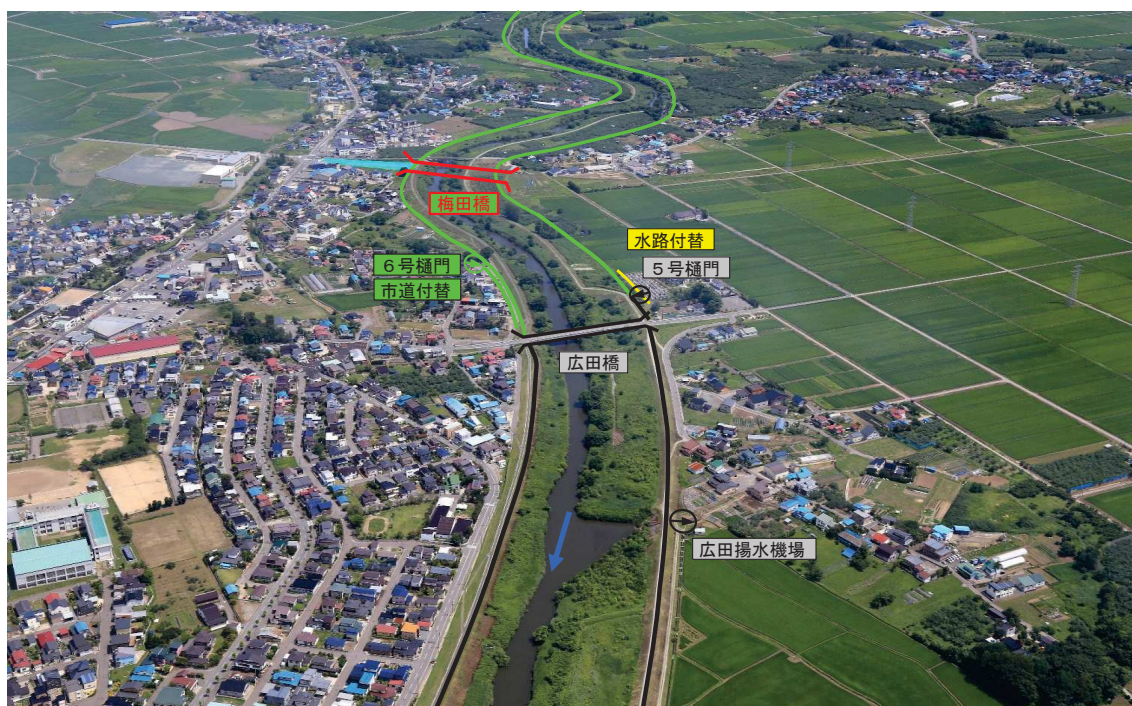
国庫補助事業や県単独事業により、安全・安心な地域づくりのため、治水安全度の向上を目指した河川改修や良好な河川環境の整備等を行っています。

○平成29年度補助事業

事業名	河川名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
広域河川改修	十 川	五所川原市姥苅～梅田	80.0	築堤工、市道付替、用地補償
	旧十川	五所川原市金木町	50.0	築堤工、県道付替、用地補償
	中村川	鯉ヶ沢町舞戸町	410.0	護岸工、用地補償
計			540.0	

○平成29年度県単事業

事業名	河川名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
河川整備河川改良	山王川	五所川原市相内	67.0	上部工、築堤工
	天神川	五所川原市戸沢	82.4	用地、下部工
	山田川	つがる市木造館岡	110.0	河床掘削
	鳴沢川	鯉ヶ沢町建石町	10.0	調査・設計
計			269.4	
河川維持	飯詰川外	五所川原市飯詰外	251.5	漏水対策、河床掘削、護岸
河床整理	中里川外	中泊町中里外	88.0	河床掘削
河川維持管理	十川外	五所川原市広田外	103.9	樋門・樋管の管理外
河川総合開発	笹内川外	深浦町岩崎外	5.8	流量観測
水防	管内河川		20.8	河川情報システム維持管理
計			470.0	



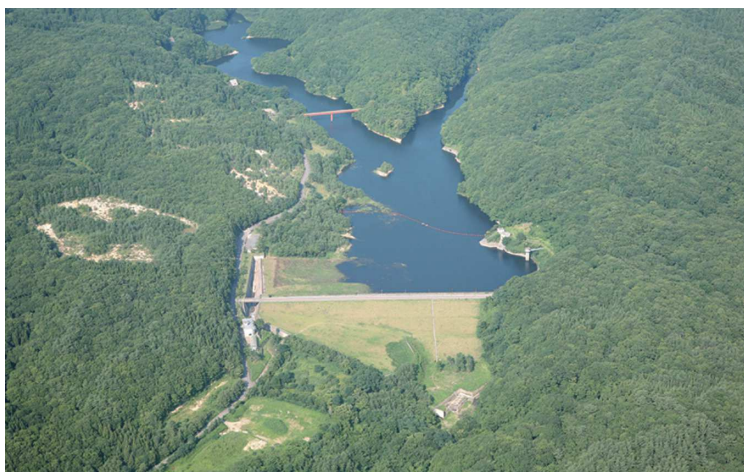
十川広域河川改修事業（五所川原市）

3. ダム

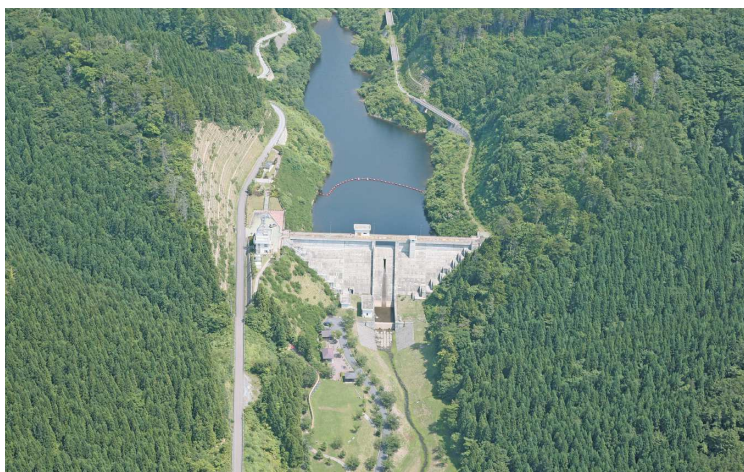
昭和47年に完成した「飯詰ダム」と平成8年に完成した「小泊ダム」の2つのダムを管理しています。洪水調節、既得取水の安定化と環境保全、上水道水の供給を行っています。

○ダム諸元

河川維持	飯詰ダム	小泊ダム
位置	一級河川岩木川水系飯詰川	二級河川小泊川水系小泊川
形式	中心コア型アースダム	直線重力式コンクリートダム
堤高	38.0 m	33.5 m
堤頂長	234.0 m	121.5 m
堤堆積	241,000 m ³	36,288 m ³
総貯水容量	2,380,000 m ³	400,000 m ³
有効貯水容量	2,030,000 m ³	340,000 m ³
集水面積	11.68 km ²	2.40 km ²
湛水面積	0.24 km ²	0.0423 km ²
上水道用水供給量	5,400 m ³ /日(五所川原市)	1,200 m ³ /日(中泊町)
事業期間	昭和42年度～47年度	昭和63年度～平成8年度
総事業費	11.6億円	62億円
平成29年度県単ダム管理費	25.9百万円(ダム管理委託外)	24.90百万円(ダム管理委託外)
平成29年度公共堰堤改良	—	103.7百万円(情報収集設備更新)



飯詰ダム (五所川原市)



小泊ダム (中泊町)

4. 海 岸

市浦海岸をはじめとした22海岸で27,431m（五所川原8,276m、鱒ヶ沢19,155m）を海岸保全区域にしており、海岸浸食事業や海岸環境整備事業などにより整備を継続しています。

○平成29年度県単事業

事業名	海岸名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
海岸整備	折腰内海岸	中泊町小泊折腰内	55.0	離岸堤嵩上外
	黒崎海岸	深浦町黒崎	60.0	離岸堤嵩上
	大和田海岸外	鱒ヶ沢町大和田外	20.0	護岸工補修外
計	3ヶ所		135.0	



折腰内海岸（中泊町）



南大間越海岸（深浦町）

5. 砂 防

県内で初めて、昭和8年に赤石川支川の築出沢と鮎石沢に砂防ダムを施工して以後、196溪流を砂防指定地告示し、荒廃の著しい溪流や災害が発生した溪流を中心に砂防事業を進めることで、土砂災害防止に努めております。

○平成29年度補助事業

事業名	溪流名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
総合流域防災 (砂防)	北南中村沢	鯨ヶ沢町中村町	40.0	工事用道路工(北中村沢)
	中村沢	鯨ヶ沢町中泊町	40.0	本堤工
	情報基盤(雪崩)	鯨ヶ沢町舞戸町外	10.0	設計外
小計	3ヶ所		90.0	
通常砂防	三ヶ沢	鯨ヶ沢町深谷町	35.0	本堤工
	白倉沢	中泊町小泊	20.0	調査・設計
	大山下沢	深浦町追良瀬	60.0	工事用道路工・本堤工
	郷沢川	深浦町柳田	80.0	工事用道路工
小計	4ヶ所		195.0	
計			285.0	

○平成29年度県単事業

事業名	溪流名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
砂防維持調査	下前区域外	中泊町下前外	17.8	地すべり観測システム点検外
砂防整備(自然災)	鮫貝沢2外	中泊町小泊外	79.1	調査・設計外
砂防整備(一般)	恩愛沢外	鯨ヶ沢町小森町外	115.0	魚道工外
計	3ヶ所		211.9	



平成25年完成 吉花沢2号堰堤(深浦町)

6. 急傾斜・地すべり

1. 急傾斜

地形上の特徴から海岸や河川沿いで背後が急斜面となっている危険な箇所に住家が集中しており、急傾斜地崩壊危険区域指定箇所が134箇所あります。

指定箇所においては、法枠や植生等を用いた法面崩壊防止工事を実施しています。

○平成29年度補助事業

事業名	区域名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
急傾斜地崩壊対策	南浮田町	鯨ヶ沢町南浮田町	40.0	用地・補償・待受援壁工
急傾斜地崩壊対策(総合流域防災)	万年坂	深浦町深浦	40.0	現場打吹付法枠工
計	2ヶ所		80.0	

○平成29年度県単事業

事業名	区域名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
急傾斜地崩壊対策	北浮田町	鯨ヶ沢町北浮田町	21.1	調査・設計
	風合瀬	深浦町風合瀬	5.3	現場打吹付法枠工
	岡崎2号	深浦町深浦	23.2	現場打吹付法枠工
計	3ヶ所		49.6	



平成19年度完成
浜町2号区域急傾斜地
崩壊対策事業(深浦町)



平成23年度完成
玉清水区域急傾斜地
崩壊対策事業(中泊町)

2. 地すべり

地すべりにより形成された傾斜地における集落では、豪雨や融雪等により断続的に地すべり災害を繰り返してきました。地すべり防止区域として指定告示した6区域では、法面工や排水ボーリング等の抑止工事を実施しています。

○平成29年度補助事業

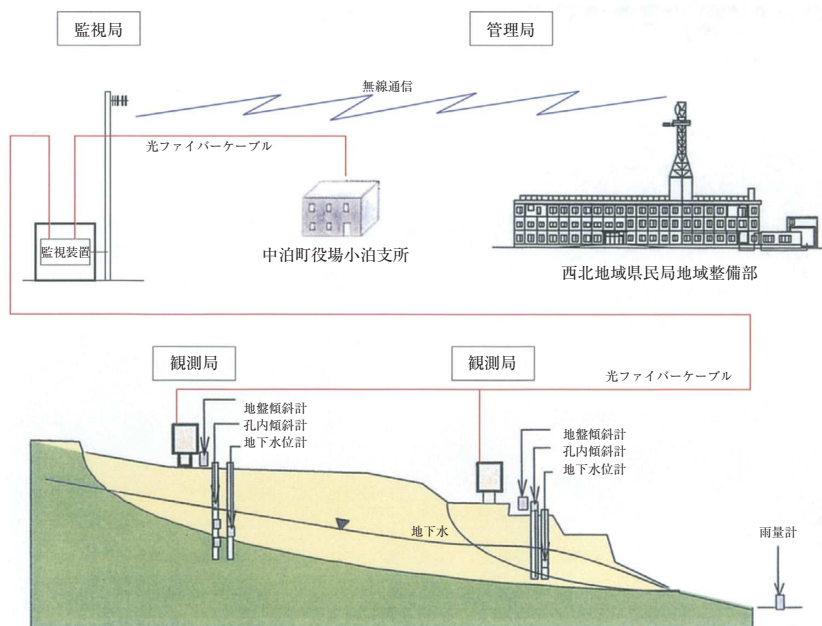
事業名	区域名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
総流防地すべり対策	大山長根	中泊町小泊字大山長根	25.0	概成判断
計	1ヶ所		25.0	



大山長根区域総流防地すべり対策事業（中泊町）



下前地区
情報基盤緊急整備事業
平成23年度完成（中泊町）



下前地すべり
自動観測システム
概略図

7. 港 湾

1. 深浦港

深浦港は、古くは江戸時代、津軽藩の貿易主要港として栄えた歴史ある地方港湾です。昭和26年には避難港に指定され、以来主に日本海沖合航行船舶の退避を目的とした防波堤及び泊地の整備が進められてきました。また、周辺海域は優れた漁場であり、当地の主要産業である漁業の振興を図るため、物揚場等の整備も行っています。

2. 七里長浜港

七里長浜港は、十三湖から続く砂丘地帯の南側に位置し、津軽地域総合開発の拠点港として昭和58年に着手し、平成9年より一部供用開始しました。津軽地域から発生する物流需要や、環日本海時代に向けた沿海諸国との貿易に対応するための流通港湾として整備しています。現在は主に建設用資材としての砂利・砂・石材の移入及び住宅・家具等の建材としての木材の輸移出に利用されています。

また、当港は世界遺産「白神山地」、中世の港「十三湊（とさみなと）」、「弘前城」等津軽地域の観光地へのアクセスが容易な位置にあることから、大型旅客船が観光クルーズで入港している港でもあります。

○平成29年度補助事業

事業名	港湾名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
港湾地方創生推進	七里長浜港	鯨ヶ沢町鳴沢	150.0	防波堤
計	1ヶ所		150.0	

○平成29年度県単事業

事業名	港湾名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
港湾整備	深浦港	深浦町深浦	3.6	臨港道路補修
	七里長浜港	鯨ヶ沢町北浮田町	54.0	維持浚渫
計	2ヶ所		57.6	



深浦港（深浦町）



七里長浜港（鯨ヶ沢町）

8. 建 築

1. 建築基準法に関する仕事

建築基準法第6条他の規定により『建築主は建築物（法第6条第1項第1号から第4号）を建築する場合、又は工作物及び建築設備を設置する場合、工事に着手する前に、その計画が建築基準関係規定に適合するものであることについて、確認の申請書を提出して建築主事の確認を受けなければならない。』ことになっています。

○平成28年度建築確認申請件数

管内市町	五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	板柳町	鶴田町	中泊町	計
申請件数	90	29	5	3	16	19	3	165

2. 公営住宅法に関する仕事

市町が公営住宅を建設する場合、その住宅が公営住宅法の基準に適合していることを確認します。

3. 県営住宅に関する仕事

西北地域県民局地域整備部管内の県営住宅は、松島団地、新宮団地、広田団地の3団地398戸で、いずれも五所川原市内にあります。

これらの県営住宅の管理は、指定管理者制度の導入に伴い、平成18年4月1日から県営住宅等指定管理者である「株式会社サン・コーポレーション」が実施しています。

団地名	戸数	家賃（月額）	住宅の概要
松島団地 （松島町6丁目）	56戸	17,700円～ 41,700円	①平成2～4年度に建替事業で建設 ②建築は鉄筋コンクリート造3階建、3層を2戸で構成するメゾネット形式の共同住宅 ③1階住戸には専用庭がある準設置型住宅 ④住戸は2DK（2タイプ）と3DKの3タイプ ⑤給湯設備完備、階段・浴室の手すりや段差解消等を高齢者対策実施
新宮団地 （長橋字広野・若葉3丁目）	102戸 （うち特定公共賃貸住宅5戸）	16,400円～ 44,000円 （特定公共賃貸住宅58,000円）	①平成10～14年度に建替事業で建設 ②建物は木造2階建と平屋が混在する長屋建住宅 ③住戸は平屋（2LDK）と2階建（3LDK）の2タイプ ④給湯設備完備、階段・浴室の手すりや段差解消等を高齢者対策実施
広田団地 （みどり町5丁目）	240戸	10,300円～ 26,000円	①昭和51年～54年度に建設 ②建築は鉄筋コンクリート造4階・5階建の共同住宅 ③住戸は3Kと3LDKの2タイプ ④給湯設備・浴槽無し（浴室あり）
3団地	398戸		

9. 用地・財産管理

○平成28年度用地取得及び補償実績

(単位：円)

事業費	箇所数	用地費総額	用地買収費			補償費		
			関係人員	地積(m ²)	金額	補償件数	金額	
補助事業	道路事業	21	128,992,999	49	11,824.83	13,430,868	28	115,562,131
	河川事業	4	70,685,981	2	3,065.66	11,874,093	7	58,811,888
	砂防事業	6	7,936,865	18	11,085.81	4,982,171	7	2,954,694
	地すべり対策事業	1	230,000	1	482.28	230,000	0	0
	急傾斜事業	2	10,237,293	0	0.00	0	5	10,237,293
	計	34	218,083,138	70	26,458.58	30,517,132	47	187,566,006
単業	道路事業	21	30,898,908	4	2,405.35	1,706,838	15	29,192,070
	河川事業	2	6,484,716	0	0.06	1,584	3	6,483,132
	砂防事業	1	11,221	0	20.19	9,450	0	1,771
	地すべり対策事業	0	0	0	0.00	0	0	0
	急傾斜事業	3	0	0	0.00	0	0	0
	計	27	37,394,845	4	2,425.60	1,717,872	18	35,676,973
合計	61	255,477,983	74	28,884.18	32,235,004	65	223,242,979	

○平成28年度使用占用許可業務状況調

(単位：円)

区分	道路占用許可		河川占用許可		港湾使用占用許可		土石採取等占用許可		海岸占用許可		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
有料	103	23,328,264	77	7,033,631	153	2,635,695	3	117,000	7	174,363	343	33,288,953
無料	402	—	122	—	19	—	0	—	2	—	545	—
計	505	23,328,264	199	7,033,631	172	2,635,695	3	117,000	9	174,363	888	33,288,953

奥津軽歴史探訪MAP

奥津軽エリアは、縄文・亀ヶ岡、中世・十三湊、近世・北前船の歴史遺産など見どころたっぷり！
歴史の風を感じながら、じっくりと巡ってみませんか。

とよみなと

■中世・十三湊

- 1 柴崎城跡 2 唐川城跡 3 龍興寺跡(春日内観音堂) 4 山王坊遺跡(日吉神社) 5 蓮華庵の板碑
- 6 市浦歴史民俗資料館 7 福島城跡 8 十三湊遺跡 9 浜の明神跡(湊神社) 10 中世の水戸跡
- その他
- 11 みちのく松陰道 12 徐福の里公園 13 オセドウ貝塚 14 中里城遺跡 15 中泊町博物館

かめがね

■縄文・亀ヶ岡

- 16 田小屋野貝塚 17 亀ヶ岡石器時代遺跡 18 木造亀ヶ岡考古資料室(縄文館)
- 19 縄文住居展示資料館(カルコ) 20 森田歴史民俗資料館(石神遺跡)
- その他
- 21 高山稲荷神社 22 最終氷期埋没林 23 西の高野山弘法寺 24 旧高谷銀行本店
- 25 旧制木造中学校講堂 26 木作御飯屋・代官所跡 27 三新田神社 28 旧津島家住宅(斜陽館)
- 29 商都五所川原歴史館「布嘉屋」 30 日平山家住宅 31 楠家住宅
- 32 迎堰大溜池(津軽富士見湖) 33 深味八幡宮 34 板柳町立郷土資料館

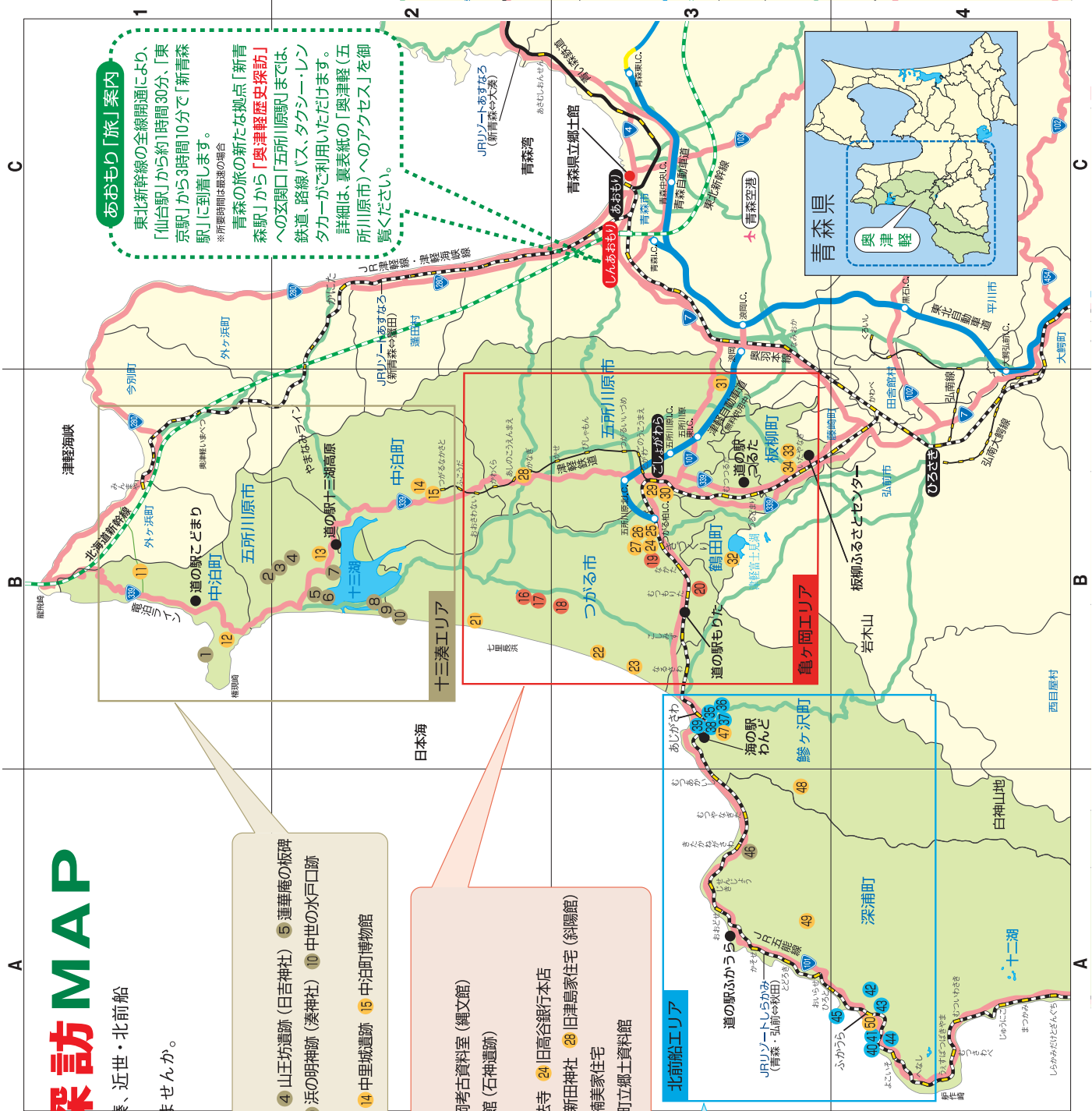
■近世・北前船

- 35 白八幡宮 36 願行寺 37 来生寺
- 38 天童山公園 39 鯉ヶ沢町奉行所・御飯屋跡
- 40 春光山円覚寺 41 風待ち館
- 42 深浦町奉行所・御飯屋跡
- 43 神明宮トヨの名水 44 日和見山 45 行合崎
- 中世・十三湊
- 46 関の古碑群
- その他
- 47 高沢寺庭園(龍廣園) 48 種里城跡
- 49 見入山観音堂
- 50 深浦町歴史民俗資料館・美術館

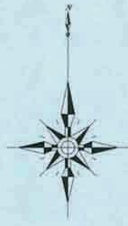
■あおもり「旅」案内

東北新幹線の全線開通により、「仙台駅」から約1時間30分、「東京駅」から3時間10分で「新青森駅」に到着します。
※所要時間は最速の場合

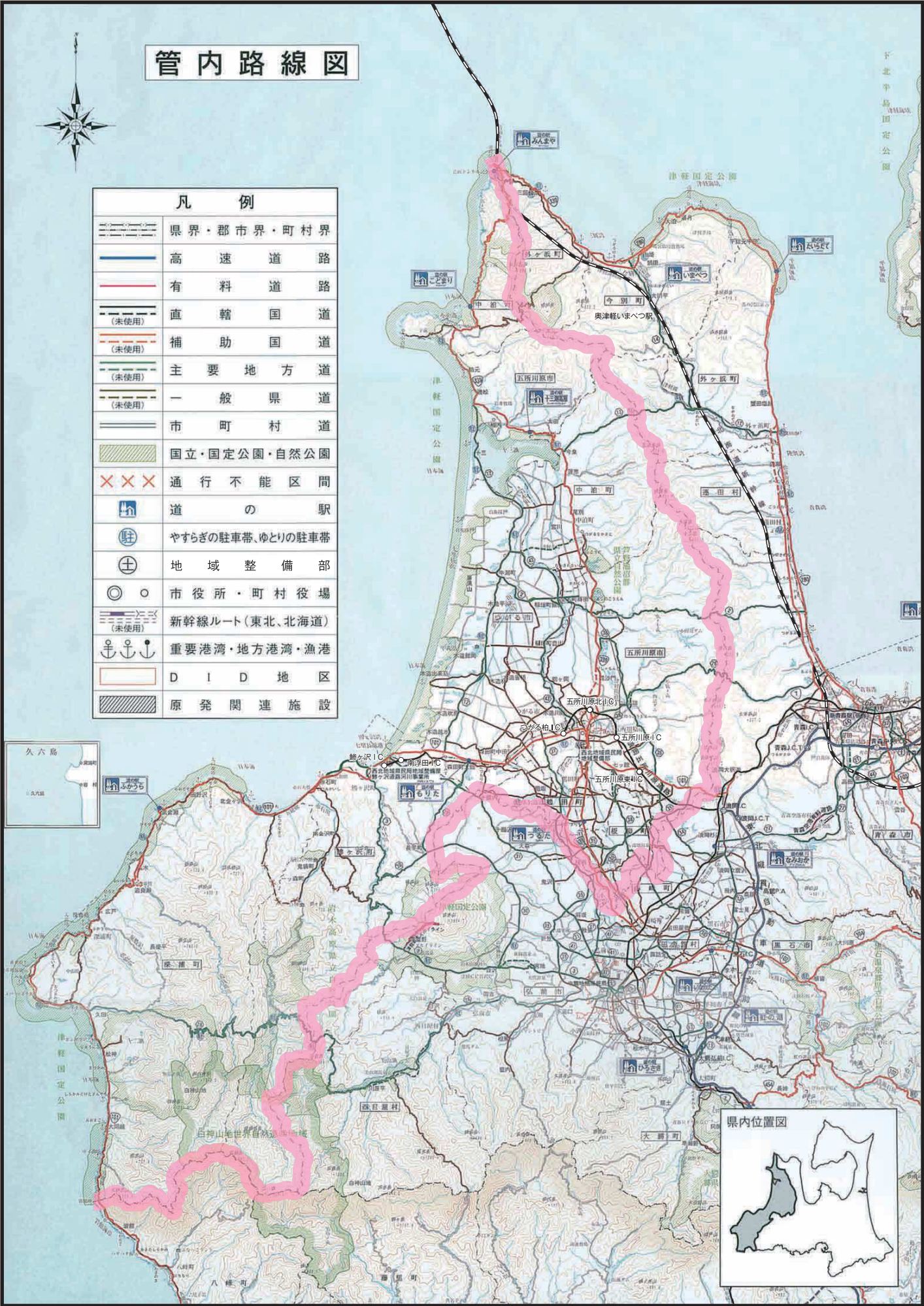
青森の旅の新たな拠点「新青森」から「奥津軽歴史探訪」への玄関口「五所川原駅」までは、鉄道、路線バス、タクシー・レンタカーがご利用いただけます。
詳細は、裏表紙の「奥津軽(五所川原市)へのアクセス」をご覧ください。



管内路線図

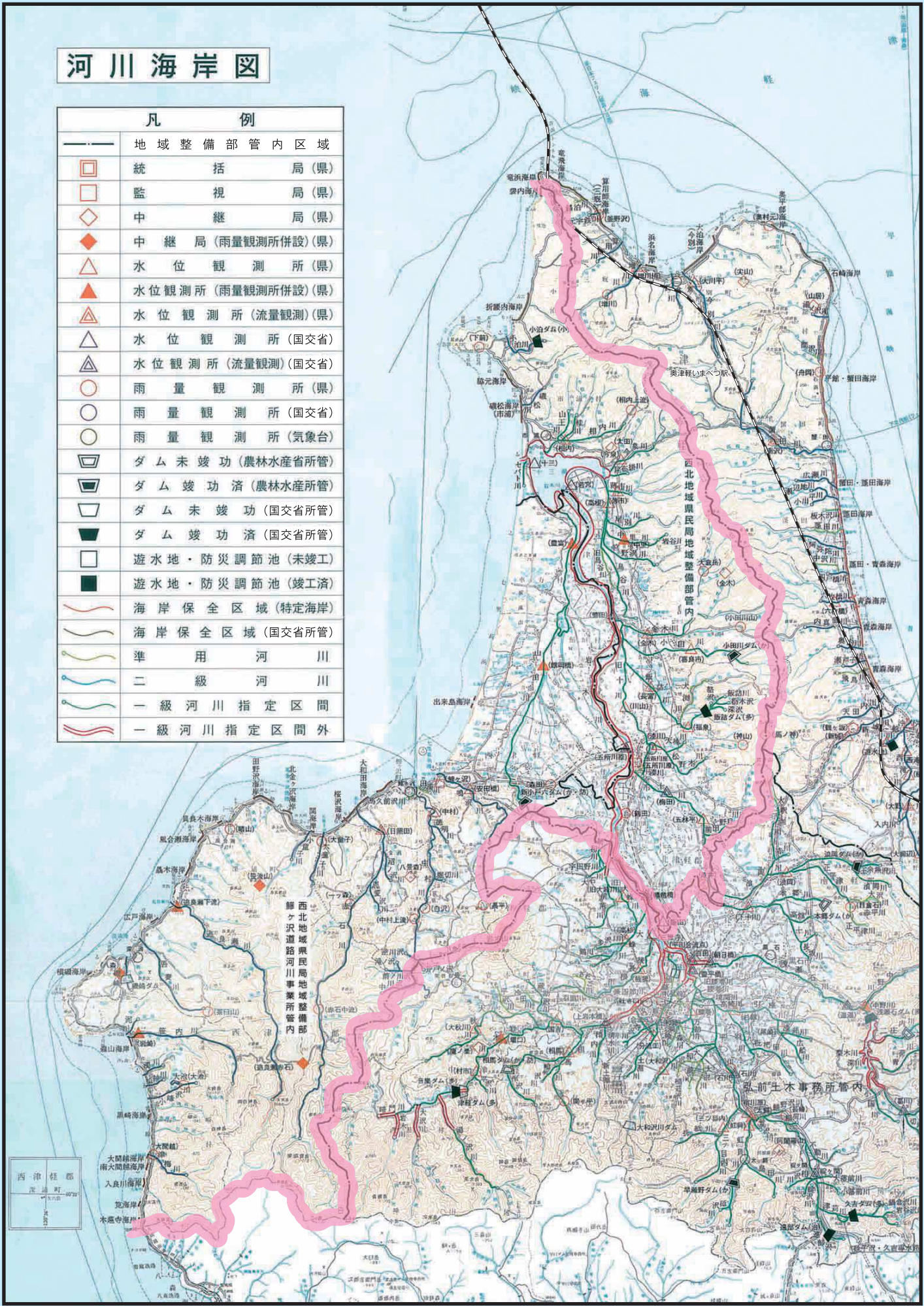


凡 例	
	県界・郡市界・町村界
	高 速 道 路
	有 料 道 路
	直 轄 国 道
	(未使用)
	補 助 国 道
	(未使用)
	主 要 地 方 道
	(未使用)
	一 般 県 道
	(未使用)
	市 町 村 道
	国 立 ・ 国 定 公 園 ・ 自 然 公 園
	通 行 不 能 区 間
	道 の 駅
	や ず ら ぎ の 駐 車 帯 ・ ゆ と り の 駐 車 帯
	地 域 整 備 部
	市 役 所 ・ 町 村 役 場
	(未使用)
	新 幹 線 ルート (東 北 ・ 北 海 道)
	重 要 港 湾 ・ 地 方 港 湾 ・ 漁 港
	D I D 地 区
	原 発 関 連 施 設



河川海岸図

凡 例	
—	地域整備部管内区域
□	統 括 局 (県)
□	監 視 局 (県)
◇	中 継 局 (県)
◆	中 継 局 (雨量観測所併設) (県)
△	水 位 観 測 所 (県)
▲	水 位 観 測 所 (雨量観測所併設) (県)
△	水 位 観 測 所 (流量観測) (県)
△	水 位 観 測 所 (国交省)
△	水 位 観 測 所 (流量観測) (国交省)
○	雨 量 観 測 所 (県)
○	雨 量 観 測 所 (国交省)
○	雨 量 観 測 所 (気象台)
▽	ダム未竣工 (農林水産省所管)
▽	ダム竣工済 (農林水産省所管)
▽	ダム未竣工 (国交省所管)
▽	ダム竣工済 (国交省所管)
□	遊水地・防災調節池 (未竣工)
■	遊水地・防災調節池 (竣工済)
—	海岸保全区域 (特定海岸)
—	海岸保全区域 (国交省所管)
—	準 用 河 川
—	二 級 河 川
—	一 級 河 川 指 定 区 間
—	一 級 河 川 指 定 区 間 外



西 津 經 郡
津 野 町 30°21'
139°24'



青森県基本計画

未来を変える挑戦

～強みをとことん、課題をチャンスに～

Aomori Prefectural Government Master Plan
Changing the Future of Aomori
Breakthrough Innovation

青森県西北地域県民局地域整備部

〒037-0046 青森県五所川原市栄町10
合同庁舎（代表）TEL0173（34）2111
（直通）TEL0173（35）2105
FAX0173（35）9114

鱒ヶ沢道路河川事業所

〒038-2761
青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸384の37
TEL 0173（72）3135～3137 FAX 0173（72）3114

立佞武多「歌舞伎創生」
かぶきそうせい
出雲阿国「五所川原市」
いずものおくに